

主な内容

- 決算特別委員会……2～3面
- 一般質問………4～6面
- 委員会の活動………7面
- 陳情、議案の賛否………8面

第3回 定例会

平成24年度決算を認定  
立川市第4次基本構想審査  
特別委員会を設置



河川敷でおおはしゃぎ！(柴崎保育園 遠足)

- 「平成24年度立川市一般会計歳入歳出決算」を含む市長提出の30議案を可決・認定・承認・同意
- 22名の委員からなる決算特別委員会を設置し、平成24年度各会計決算の審査を行う
- 「小中学校のすべての教室にクーラー設置を求める陳情」など陳情2件を採択
- 22名の議員が市政全般にわたり、一般質問を行う

今期定例会において、「立川市第4次基本構想について」を特定事件とする「立川市第4次基本構想審査特別委員会」が設置されました。

「立川市第4次基本構想審査特別委員会」を設置

委員長 梅田 春生  
副委員長 福島 正美  
委員 伊藤 大輔  
委員 高口 靖彦  
委員 中山ひと美

委員 永元須摩子  
委員 大沢 豊  
委員 太田 光久  
委員 佐藤 寿宏

人事紹介

10月1日の本会議で、立川市監査委員の選任について同意しました。

立川市監査委員  
▶佐藤 みち子 氏(再任)  
立川市曙町在住

委員の変更

立川まちづくり特別委員会

10月1日付で伊藤幸秀委員が辞任し、新たに岩元喜代子委員が選任されました。

◆会議の経過◆

10月1日 本会議  
9月30日 議会運営委員会  
9月26日 議会改革特別委員会  
9月25日 立川まちづくり特別委員会  
9月24日 文教委員会  
9月20日 環境建設委員会  
9月19日 厚生産業委員会  
9月18日 総務委員会  
9月11日～17日 決算特別委員会  
9月4日～10日 本会議  
～会期28日間～

# 決算特別委員会



古屋 直彦  
委員長

議員22名を委員（議長、副議長、監査委員及び決算の総括質疑を行った議員を除く出席議員全員）として、審査を行いました。審査の結果、平成24年度一般会計決算、国民健康保険事業決算及び後期高齢者医療事業決算を賛成多数で、その他の特別会計決算については全会一致で認定すべきものと決しました。

## ◆決算特別委員会委員◆

|        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| ◎古屋 直彦 | 木原 宏  | 梅田 春生 | 大沢 豊  |
| ○伊藤 大輔 | 中山ひと美 | 五十嵐けん | 田中 清勝 |
| ○山本みちよ | 福島 正美 | 永元須摩子 | 太田 光久 |
| 稲橋ゆみ子  | 伊藤 幸秀 | 堀江 重宏 | 堀 憲一  |
| 高口 靖彦  | 岩元喜代子 | 上條 彰一 | 佐藤 寿宏 |
| 安東 太郎  | 大石ふみお |       |       |

## 問



佐藤 寿宏  
(たちかわ自民党)

時勢に合わせた  
予定価格を

市内の建設業者はこの10年で大変疲弊しており、倒産、廃業により大幅に減っています。業者は入札額を落として仕事を取ろうとしています。東日本大震災の復興需要によって資材の価格も上がっています。市の予定価格ではとてもできないと、入札辞退者も多い状況です。予定価格を算出するにあたっては、市が自ら物価、材料費、人件費の増減などを加味したうえで、時勢に合わせた積算を行う必要があると考えますが、見解を伺います。

## 答

市が発注する工事は税金を原資としています。コストパフォーマンスを最大限考えていますが、仕事を受ける側が赤字になるのであれば経営は成り立たず、バランスが難しいと考えています。落札率は、個々の入札案件ごとに状況が違うので、東日本大震災の際の資材価格高騰など、要因分析をしながら、また、一方では競争原理が働くかどうかというところに注目しながら、契約制度改革に取り組んでいきたい。

## 問



梅田 春生  
(民主・市民フォーラム)

未利用地売却の  
努力を

市の未利用地について、取得価額と参考評価額のかなりの違いがあり、20力所の平均で倍近くの開きがあります。参考評価額ではなく、一度実際の鑑定評価額を確認すべき

## 答

鑑定評価については、1カ所あたり約60万円の費用がかかるため、売り出しができるか不明な土地について行うことは困難です。売却については、昨年度検討しましたが、不動産業者への聞き取りから、市場の状況をもう少し見ることにしました。市況が良くなれば、インターネット取引なども利用し、売り出したいと考えています。隣地所有者への売却については、何件か話はあるものの、今のところ具体化には至っていません。



砂川町の未利用地



永元 須摩子  
(日本共産党)

シルバーピアに  
民間住宅の活用を

平成24年度のシルバーピアへの応募は51件で、前年度の65件から少し減少しています。申し込んでも入居でき

## 答

応募者数減少の原因については、高齢者が都営住宅や他の民間施設を利用したなどの理由が考えられますが、詳細は不明です。現在、市では5団地80戸のシルバーピアを管理していますが、入居できない方が多数いらっしゃることは認識しており、これを現在のシルバーピアで対応することは困難だと考えています。対策として、現在のシルバーピアに限らず、サービスつき高齢者向け住宅や、民間住宅の活用も、今後の課題として検討したい。



シルバーピア玉川上水

## 会議録について

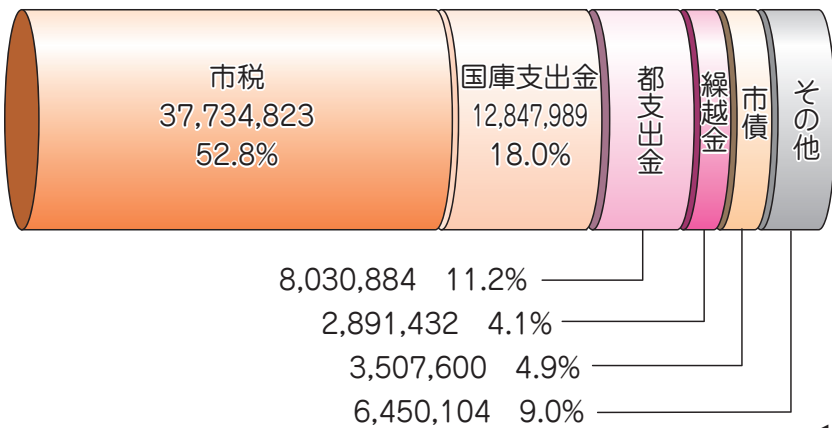
発言内容などを詳しく知りたい方は、中央図書館や市役所3階の市政情報コーナーで会議録をご覧ください。また、市議会のホームページ内の会議録検索システムでもご覧になれます。今期定例会の内容については、11月28日頃からご覧いただける予定です。

## 平成24年度一般会計歳入・歳出決算状況

平成25年4月1日現在人口 178,127人(外国人を含む)

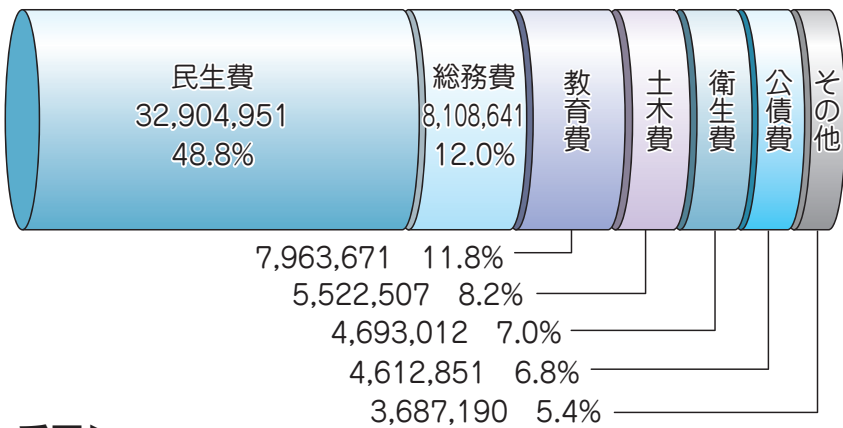
歳入

総額 71,462,832 千円  
(市民一人当たり 税負担額 211,842 円)



歳出

総額 67,492,823 千円  
(市民一人当たり 支出額 378,903 円)



(単位: 千円)